



写真2: 採集したプラスチック (一人分)



写真3: およそ1mm以下のマイクロプラスチック (1目盛りは1mmを表す)

地元の大阪府立岬高校「ピリカ部」のみなさんは、毎週1回海辺の清掃活動を行っています。先日、「ピリカ部」のみなさんと共同で、さとうみ磯浜で、マイクロプラスチックと呼ばれる5mm以下の小さなプラスチック片がどれほど見つかるのか、調査してみました。

選んだ場所は、波が打ち寄せて漂流物がたまりやすい打ち上げ帯で、長さ約16m×幅約1.2mの範囲。15名で30分間採集をしました(写真1)。その結果、700個近いプラスチック小片が回収され(写真2)、この中には目的とする5mm以下のマイクロプラスチックも多数見つかりました。正確な数は今調査中ですが、中には1mm以下のかなり小さなものも含まれています(写真3)。普段は大きなプラスチックゴミを拾っているピリカ部のみなさんは、あらためて砂の

中をよく探すと細片化したプラスチックが多いことを実感していました。

近年、マイクロプラスチックは、クジラやウミガメ、海鳥、魚などの大型の捕食者の体内から見つかっていて、動物に与える影響が調査されています。ピリカ部のみなさんは現在、これまでの清掃活動で気づいたことや今回の結果をパネルにして mini・mini 水族館で展示する準備を進めてくれています。

